

(案)

WHO-FIC ネットワーク年次会議（2016）及び ICD-11 改訂会議について

【日時】 2016 年 10 月 8 日（土）～14 日（金）（予定）

【場所】 東京慈恵会医科大学（8 日（土）～9 日（日））

東京国際フォーラム（東京都千代田区）（10 日（月）～14 日（金））

【主催】 WHO、日本 WHO 国際統計分類協力センター※

【参加者】 WHO 国際統計分類協力センター、WHO 加盟国保健省、WHO 本部、WHO 西太平洋地域事務局他

【日本での開催実績】 過去 3 回開催（直近は 2005 年）

【会議概要】

WHO-FIC ネットワーク年次会議は、国際統計分類を担当する各国担当者が一堂に会し、議論、調整、報告を行う場として、年に 1 回、毎年 10 月頃に開催される。各国の WHO 国際統計分類協力センターが持ち回りで開催しており、日本でも過去 3 回の開催実績がある。

2018 年 5 月の世界保健総会で国際疾病分類（ICD）が 28 年ぶりに改訂される予定であることを受け、会期中に WHO 加盟国の保健省等を招待する改訂会議（Revision Conference）を開催する予定。

並行して、診療情報管理協会国際連盟（IFHIMA）第 18 回国際大会及び第 42 回日本情報管理学会学術大会が同会場で開催され、夕食会などを合同で開催する予定である。

【テーマ】

Health Information in a New Era: ICD-11 Revision Conference
（保健医療情報の新時代：ICD-11 改訂会議）

※ 日本 WHO 国際統計分類協力センターは、以下の組織で構成されている。

- ・ 厚生労働省大臣官房統計情報部企画課国際分類情報管理室
- ・ 国立保健医療科学院
- ・ 国立障害者リハビリテーションセンター
- ・ 国立がん研究センターがん対策情報センター
- ・ 国立国際医療研究センター
- ・ 国立成育医療研究センター
- ・ 日本病院会 日本診療情報管理学会
- ・ 日本東洋医学サミット会議（JLOM）

第 18 回社会保障審議会統計分科会疾病、傷害及び死因分類専門委員会